



2014～2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第8回 通算1354回 平成26年8月26日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/5 修正出席率
		56名	32名	62.7%	90.2%

ゲスト: 第2760地区ガバナー 近藤雄亮さん(名古屋瑞穂) 地区幹事 高須洋志さん(名古屋瑞穂) ビジター:(なし)

ガバナー公式訪問例会

★会長あいさつ

滝下 勲会長



皆さん、こんにちは。本日は、近藤地区ガバナーと高須地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問です。

ようこそ、豊川にお越し頂きました。ガバナーは、毎年、豊川稲荷に来られているそうです。

近藤ガバナーの方針については、ガバナー月信の7月号をお読み頂いているので、皆さんご存知の事と思います。私は名古屋の方で何回かお会いしています。初対面の時には、少し話しにくい人かなと思いましたが、大変気さくな方です。例会前の会長幹事懇談会も和やかに懇談することが出来ました。今日の訪問でより親しくなれましたので、地区の会議でお会いした時には、今まで以上に気さくにお話が出来ると思っています。

ガバナーの方針のロータリーデー開催を来年の5月の「おいでん祭」の時に、ブースを借りて当クラブが行う予定になっています。11月に名古屋で開催される地区のロータリーデーの「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」で使った看板などを再利用したいというお願いをしています。本日、改めてガバナーにも

お願いをさせて頂きました。

新聞の記事を紹介します。作家の宗田理さんの記事です。「今年で戦後69年になる。戦争の体験者や当時の事を語れる人は年々少なくなっている。今の中学生の親も祖父母も、ほとんど戦争を知らない世代だろう。そこで、“ぼくらの太平洋戦争”という題名の本を今月刊行することにした。ただ戦争の思い出話だけを書いても今の中学生には通じないので、主人公を1945年(昭和20年)終戦の年、場所は愛知県豊川市にあった豊川海軍工廠にタイムスリップさせることにした。豊川海軍工廠は東洋一の兵器工場だったが、1945年8月7日に米軍の空爆によって壊滅した。そこで工場に動員されていた中学生たちを含む2,500人以上の人たちが爆死した。これはまさしく戦死としか言いようがないのだが、広島、長崎の原爆投下に挟まれて、その事実を知る人は少なかった。現在の動物の餌よりひどい食事。ノミやダニにさいなまれて眠れない夜。クーラーどころか扇風機もない。毎夜の空襲警報。そんなひどい環境の中で働かされて上、最後は国のために死ぬと言われて死んでいった中学生。こんな時代に現代の中学生がタイムスリップしたら、はたして耐えられるだろうか。戦争と言うものを頭ではなく実感としてとらえてもらいたいと思って書いた。それは、あの戦争を生き残ったものつとめだと思うからである。」という記事です。

8月15日は終戦記念日でした。この8月の時期には、戦争に関しての話をしたと思っておりまして、皆さんにこの記事を紹介させて頂きました。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更のお知らせ
台中松竹RCの例会会報の回覧

★卓話

近藤雄亮地区ガバナー



皆さん、こんにちは。先ほど、例会前に会長幹事懇談会をさせて頂きました。本当に和やかな会にな

りました。ありがとうございました。本日の食事は、私の一番好きな食べ物です。体調不良で倒れた時に、朝、昼、晩と寿司を出せと女房に言っているぐらい好きです。SAAのご配慮に感謝申し上げます。

まず、WFF、ワールドフード+ふれ愛フェスタ in 愛知の開催の話をしてします。昨年度、名古屋和合RCが「ワールドフード・ふれ愛フェスタ」を単独で開催されました。途中から非常に大きな事業になって来て、とても単独事業では出来ないということで、昨年度の田中ガバナーにお願いをして、6月頃から地区も一緒になって進めました。11月の開催までの短期間に準備を進めたので、やれきれなかった部分も沢山ありましたが、開催そのものは大変好評でした。フェスタ開催後にRI理事や事務総長が出席されるロータリー研究会という会議があり、田中ガバナーがこのフェスタ開催についてプレゼンをしました。

今年の1月に、私がガバナーになるために、アメリカのサンディエゴで国際協議会が開催され、出席した初日に今年度のゲイリー・ホアンRI会長からRIテーマと強調事項が発表されました。その強調事項の一つに、ロータリーデーをクラブ単位、地区単位、国単位で実施しなさい。開催することにより、一般の人たち、ロータリーファミリーに楽しんでもらい、ロータリーの活動のPRをして下さいという話がありました。国際協議会には、RI理事の北清治さんも一緒に出席していました。

日本に帰国してから、北さんから、昨年のロータリー研究会で発表されたフェスタを今年も開催するのかと聞かれました。今年度は最初から地区で開催する予定をしていたので、11月1日～3日に開催する予定だと申し上げました。そうしましたら、北さんより、そのフェスタをジャパン・ロータリーデーのモデルにしたいというお話を頂きました。開催することは決まっていたので、それに冠が一つ付きました。3日間のうち、11月3日はジャパン・ロータリーデーとしての公式行事となりました。RIが加わりましたが、開催そのものは第2760地区で運営して行っています。現在、WFF実行委員会を中心に開催に向けて準備を進めています。皆さんには、チケット買って終わりではなく、ぜひ大勢の皆さんで参加をして頂きたいと思っています。



2760地区は、財団の関係のVTT(職業研修チーム)があります。以前はGSEと言っていた研究グループ交換事業です。昨年度はフィリピンと行いました。名古屋市立大学の教授をリーダーに医療チームを派遣して、実際に腹腔鏡手術をフィリピンで21症例行いました。現地でも非常に話題にもなり、テレビの取材等もありました。6月に数名の医療関係者が来日して、最新の医療現場の見学をしました。VTT事業は、当地区が財団のパイロット地区になった年から行っております。相手地区の人たちから、当地区と何らかの友好を結びたいという話が来ました。私は、相手地区のバスターガバナー等と話をし、紙に書いたもので行うよりも、実績を作りましょうと提案し、今年の11月にフィリピンから来られることになりました。

昨年度、WFFで得た収益金で、カンボジアに水関係の施設を寄付しました。今年も継続的に行う予定です。そして、新たに教育指導事業、ポリオへの寄付も考えております。

ロータリーが組織として弱体化してきています。地区もクラブもそうです。この WFF は、ある意味お祭りです。一般の人、ロータリーファミリーがインターナショナルな食事をしたり、モノを買ったりするわけです。ですが、このお祭りを成功させるために、ロータリーが一体感を持って、みんなで協力をしていけば、組織として根っこの部分が強くなると考えています。WFF 実行委員会には、地区のクラブ奉仕関係を除いて全ての委員会委員長に実行委員会メンバーになってもらっています。それぞれ役割を決めて、それぞれ各委員会で議論して準備を進めています。ただのお祭り騒ぎで終わりではなく、委員会同士、委員会内の連携を強くし、地区を強くする。その結果、自分のクラブ内も連携が取れているか考えてもらいたい。例えば、財団が寄付を集めているが、地区補助金やグローバル補助金を社会奉仕や国際奉仕が上手に使っているか。委員会と委員会が話し合えば、連携して補助金を使った事業が出来ます。

近年、地域密着と言われていています。豊川宝飯 RC の場合だと、豊川市周辺が地域ではありますが、姉妹締結している台湾の地域に、姉妹クラブと共同でグローバル補助金を使った事業をすることも地域密着だと思います。地域奉仕は、社会奉仕だけではなく、社会奉仕、国際奉仕、財団など一緒になって考えることによって、本当にその地域のニーズに合った、活きた奉仕活動になります。そのために、地区がモデルにならないといけないと考えています。地区が皆さんに強制している訳ではありません。各クラブ、各メンバーが主体性を持って、地域のニーズにあった奉仕活動をしてほしいです。各クラブが活動をしていくためには、必要ならば地区もお手伝い、橋渡し、紹介などします。

WFF が、ジャパン・ロータリーデーのモデルになることも、その一つであります。他地区から愛知県に見に来ます。それに対して、我々ロータリーファミリーがどのように関与しているか、それを見て、各地区、各クラブが強くなり、結果、会員増強にも繋がって行くし、世の中のロータリーの認知度も上がって行きます。先に会員増強があるのではなく、まず組織が強くなることを見直す時期が来ているのだと思います。それが、WFF 開催の私の本当の狙いです。

次に「ロータリーの希望の風奨学金」の話

をします。正式には「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」です。2010-11 年度の田嶋パストガバナー時に東日本大震災が起きました。その時に日本全国から集まった寄付金の使い道として、当地区を含む 10 地区で「ロータリーの希望の風奨学金」を立ち上げ、0 歳児の子どもが専門学校、短大、大学卒業まで奨学金支援をすることを始めました。その後 3 地区加わり、現在は 10 地区で行っている事業です。今年 3 年経ったので、組織を編成して、田嶋パストガバナーは顧問、私は副委員長になりました。組織を編成したのを機に、風化しかかっているこの事業をもう一度、皆さんに理解を呼びかけることになりました。今後の支援金の先細りも懸念されるので、皆さんには、お一人 1,000 円の支援金のご協力をお願いさせて頂きたいです。各クラブには 8 月 18 日にメール配信でご案内をさせて頂いております。3 年前に始めた長丁場の事業ですが、風化をさせないようにしたい。そして、この事業の主旨を皆さんに理解をして頂きたいと思えます。

次に、RI 会長賞、ガバナー賞にぜひ挑戦して頂きたいと思えます。これは挑戦であって、絶対に出来なければならないことではありません。クラブが結束力を強くして、素晴らしいクラブ、楽しそうなクラブ、魅力あるクラブになることが目的です。結果でなく、プロセスの中で、みんなが協力し合う、それが必要だと思います。ゲイリー・ホアン RI 会長は、一つ一つのローソクを灯した時、120 万本のローソクが灯って、そして世界が明るくなるだろうと言っています。目標を掲げた時に達成感を味わって下さい。その一人一人が達成感を味わう事で、喜びを感じるでしょう。それが、クラブが輝くことになります。クラブが輝けば、地区が輝くでしょう。地区が輝けば RI が輝くでしょう。ということなのです。

国際協議会に行った時に、良い事を行った人には出来るだけ大勢の人の前で顕彰しましょうと言われていています。ガバナー賞も多くのクラブに挑戦して頂きたいと思っています。ロータリーデーの開催、純増 3%、米山への寄付額が会員一人平均 2 万円以上、のどれか 1 つを達成したクラブです。すでに、豊川宝飯 RC は、ほぼ確実に純増 3%は達成できると会長さんから伺っていますので、ガバナー賞は取れると思えます。

次に、ポリオについてです。今年の 7 月か

らジュディオングさんが、広告ポスターのモデルになりました。1月にインドのポリオ撲滅宣言がされました。撲滅宣言と言うのは、3年間ポリオが発症されなければ宣言されません。インドは数年前まで、多民族国家だからポリオの撲滅は無理だと言われていた国です。今から3年前に発症例がなくなり、今年の1月に撲滅宣言されました。撲滅宣言されたらワクチン投与をしなくてもよくなるわけではありません。日本でも小さな子は、ポリオワクチン投与をしています。接種しなければ発症する可能性があるからです。あとは、ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンの3カ国です。ここは紛争国です。ここも多民族国家です。子どもの口にワクチンを入れることを宗教的に拒否するところもあります。今は政府の人に協力してもらい、ワクチン投与をしています。撲滅にはゲイツ財団の協力があって進んでいます。撲滅宣言は間近でないかと言われています。2018年には世界からポリオ撲滅宣言が出来るように頑張っていますので、皆さんの理解をお願いします。WFFの時にもポリオ撲滅の取組みを紹介するパネルを展示します。豊川宝飯 RC のロータリーデーの際にも、ポリオ撲滅のパネルの展示をして頂きたいと思っています。

最後に、青少年奉仕プログラムに力を貸して頂きたいと思います。青少年奉仕は、青少年交換、財団奨学生、平和フェロー、米山奨学生などあります。彼らは日本に来たり、日本から行ったりして世界との懸け橋を作ってくれています。ぜひ、この事業にご理解を頂きまして、青少年を育成する事業に力を貸して頂きたいと思います。

今後も地区の事業に対してご理解ご支援をよろしくお願いします。ご清聴ありがとうございました。



★会長幹事懇談会

例会前に会長幹事懇談会が和やかに行われました。



★ロータリー・ニュース

ロータリー国際大会は、2015年にサンパウロで開催されます。開催日が変更され2015年6月6日～9日です。土曜日の本会議後、Anhembi Parqueにてロータリーカーニバルが行われます。

詳しくは国際ロータリーの Web で紹介されています。



★ニコニコボックス

近藤雄亮様 公式訪問に際しニコボックス
高須洋志様 //

会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員